

■ 端末設定ツール(Config.exe Ver1.2.3)操作ガイド 基本設定

- ・ 情報収集端末(HF-ILT/UHF)に、通知先等を設定するルーツのガイド資料です。
- ・ 端末[電源接続]とパソコンをUSBケーブルで接続し、 **Configure.exe** を起動します。
- ・ 接続状態が、表示され、“接続済”状態で、[読み込み]をクリックすると設定状態を確認出来ます。
- ・ **設定の反映は、[適用]をクリックします。** (設定後、リセットが実施され反映される項目もあります。)
- ・ 端末の起動後、表示が **00:00** の場合、端末の時刻設定が出来ていないので、[時刻同期] を実施下さい。

[選択]
無線LAN
有線LAN
デモ(通知無効)

[設定]
無線LAN時
(例:接続先ルーター)

[設定]
DHCPによるIP
割り当て利用
時は、☒。
固定IP時は設定

[設定]
タグあり認識の確定時間
(チャタリング除去処理時間)
(例:タグの扱い時の一時認識時の
過敏な反応を抑制する。
但し、応答性へ影響する。

[設定]
タグなし認識の確定時間
(チャタリング除去処理時間)
(例:タグの配置認識実施時等に、
短時間でのタグの未検知時に
過敏に反応しないようにする。
但し、応答性へ影響する。

[設定]
変化認識時の通知猶予時間
(例:置き直しが発生する場合など)

[表示]PCと端末の接続状況
(COM番号、端末F/Wバージョン)
※バージョンは[読み込み]実施後に表示

[設定]PCと端末の接続状況
通知電文の送信先IPアドレス
ポート番号は、10002推奨



[実施]
設定内容を読み込み表示します。

[実施]
設定内容を端末のメモリに保存してリセットを実施し反映します。

[実施]
再起動を実施。
※電源供給が継続されたままのソフトウェアリセット

[設定・更新]
FW更新画面が開く。
更新用zipを指定
[書き込み]を実施

[確認]
端末RTC時刻

[設定(自動取得)]
PC時刻と同期

[確認]
IP情報

[設定]端末の認識番号
通知電文中の端末番号
0～9、A～F (16進数字)のみ設定可能

図：情報収集端末HF版接続・「読み込み」実施後画面

■ 端末設定ツール (Configure.exe Ver1.2.3) 操作ガイド 拡張設定

[設定] 表示向き(上/下)設定

拡張設定

液晶設定

スプール設定

タグ組み合わせ

ブザー鳴動

応答文言設定

テスト送信

UHF 設定

文字色設定

[処理] 再送蓄積データ削除

[設定]
トラフックの抑制等のため、通知電文を送信するタグのセット条件を設定します。
「なし、1枚～5枚」のセット条件を設定します。
タグセットは、タグの種別(EPCの先頭バイト：
A0・50・4B・53・4D
の組み合わせで指定します。
(例)3種のタグセットが指定されている際は、
指定の3種のタグが認識タグとして揃わなければ、通知電文は送信されません。

[テスト] 端末ブザー鳴音テスト

[テスト] 指定電文送信先へ通信疎通テスト用の
パケットを送信します。
※イントラ、セキュリティ設定等を適切に実施し、
TCPパケット(推奨ポート10002)が疎通する事を
確認します。

[設定] UHF版のみ
送信RF出力、アンテナ動作を設定します。

[設定] 表示色設定
応答文言表示時等の
表示枠内(背景)、
文字色を指定します。
次項に記載の色コード
で指定します。

項目	カラーコード
情報 (I) 文字色	#FFFF
情報 (I) 背景色	#0000
エラー (E) 文字色	#FFFF
エラー (E) 背景色	#F800
スプール 文字色	#001F
スプール 背景色	#FFE0

[設定]

ACK 応答表示文言設定

表示条件	1 行目テキスト	2 行目テキスト
*	治具をセットして...	認識数が表示さ...
I01	送信完了	Transmission co...
E01	送信できませんで...	ERROR!!
E02		
E03		

表示時間 (ミリ秒) : 3000

CSV 読み込み

CSV 書き出し

Json 書き出し

テスト

OK

キャンセル

表示.csv - メモ帳

ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
表示条件, 1 行目テキスト, 2 行目テキスト
*, 治具をセットして下さい, 認識数が表示されます
I01, 送信完了, Transmission complete
E01, 送信できませんでした, ERROR!!
E02,,
E03,,

1 行, 1 列 100% Windows (CRLF) UTF-8

■ 応答文言設定用 CSV ファイル/操作仕様

ファイルの文字コードは、UTF-8 で保存して下さい。
一行目は、ヘッダー行で読み込み時には破棄されます。
表示条件は、メッセージを表示する条件を示します。
*の指定は、待ち受け時に表示するメッセージになります。
フラグ 2 (ACK 電文中) にあたる表示文言は、I + 表示種別番号
フラグ 3 (ACK 電文中) にあたる表示文言は、E + 表示種別番号
と指定してください。
表示種別番号は、16進数 2桁を指定してください。
(アルファベットは全部大文字にしてください)
表示時間の設定は、自動消去される場合 (フラグ 2) の
メッセージ表示時間です。
[テスト] ボタンを押したときは、一時的なテストモードに入ります。
画面をタッチしていくと設定した文言が順次表示されます。
テキストの見切れ等の確認に使用してください。
もう一度、端末をリセットすると通常の動作モードに入ります。

■文字色・表示色設定色コード（例）

```
#define TFT_WHITE    0xFFFF    /* 255, 255, 255 */
#define TFT_BLACK    0x0000    /*  0,  0,  0 */
#define TFT_RED      0xF800    /* 255,  0,  0 */
#define TFT_BLUE     0x001F    /*  0,  0, 255 */
#define TFT_YELLOW   0xFFE0    /* 255, 255,  0 */
```

```
#define TFT_NAVY     0x000F    /*  0,  0, 128 */
#define TFT_PURPLE    0x780F    /* 128,  0, 128 */
#define TFT_OLIVE     0x7BE0    /* 128, 128,  0 */
#define TFT_GREEN     0x07E0    /*  0, 255,  0 */
#define TFT_CYAN      0x07FF    /*  0, 255, 255 */
#define TFT_MAGENTA   0xF81F    /* 255,  0, 255 */
```

```
#define TFT_ORANGE    0xFDA0    /* 255, 180,  0 */
#define TFT_PINK      0xFE19    /* 255, 192, 203 */
#define TFT_BROWN     0x9A60    /* 150,  75,  0 */
#define TFT_GOLD       0xFEA0    /* 255, 215,  0 */
#define TFT_SILVER    0xC618    /* 192, 192, 192 */
#define TFT_SKYBLUE    0x867D    /* 135, 206, 235 */
#define TFT_VIOLET     0x915C    /* 180,  46, 226 */
```